

学校だより・あすなろ

校長 田崎俊一郎



梅雨時期の学校生活

遅く梅雨入りしたそうです。昨年は、5月29日に梅雨入りしたので、今年はずいぶん遅い梅雨入りとなりました。

梅雨時期の学校生活では、いつもにもまして登下校が心配です。傘をさして歩くと、どうしても視界が狭くなり、車に気づきにくくなります。雨の降り方によっては、雨の音で車の音がかき消され、気づきにくくもなります。登下校時には十分に車に注意するように学校でも指導をしていきます。

次に、心配するのは、室内での生活についてです。いつも外で元気に遊んでいる子どもたちにとっては、この梅雨時期は外で遊ぶことができず、イライラがたまってしまいます。学級、もしくは学校で問題がおきることが多い月としてあげられるのが6月、11月そして2月です。いじめの認知件数が多い月は6月と11月です。そして、学校における月別の負傷や疾病の件数が多いのも6月と11月、そして2月だそうです。あるニュースに掲載されていた脳科学者の方のお話では、「安心ホルモンであるセロトニンの分泌や合成が、日照時間などの変化によって5月から6月、10月から11月にうまくいけなくなり、その結果、不安が強まってくる。セロトニン不足は、不安を強めるだけでなく、暴力性が高くなるなどの傾向がある」というものがありました。全ての原因がそこにあるとは思いませんが、6月は子どもたちが不安を覚え、心が不安定になることは事実のようです。普段以上に子どもたちの様子の変化に敏感になり、しっかりと声をかけていきたいと思えます。



学校保健委員会

第1回学校保健委員会を6月14日(金)に開

きました。PTA会長様をはじめ、副会長様、PTA広報部長様、教育環境部長様、生活指導部長様、母親部長様、学年部長様そして福利厚生部の方々にも出席していただきました。子どもたちの健康状態、そして本年度の活動テーマを「健康な体を育てよう」とし、サブテーマを「睡眠と生活習慣について」として取り組んでいくことを確認しました。何をするにも健康が第1です。学校と家庭が連携をし、がんばりぬくたくましい子どもたちを育てていきましょう。

AED講習会

AEDの講習会を6月14日(金)に行いました。非常時

に備えることはとても大切です。焦ってしまうと、とっさの判断が十分にできなくなります。この活動もいのちを見つめる活動のひとつとなっています。

